

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,572	11,758
受取手形及び売掛金	22,280	24,842
その他	5,037	5,832
貸倒引当金	△53	△58
流動資産合計	47,836	42,375
固定資産		
有形固定資産	8,468	8,495
無形固定資産		
のれん	4,063	3,969
その他	3,650	3,846
無形固定資産合計	7,714	7,816
投資その他の資産		
その他	7,610	8,661
貸倒引当金	△14	△9
投資損失引当金	△340	△340
投資その他の資産合計	7,256	8,311
固定資産合計	23,439	24,623
資産合計	71,276	66,998

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,282	1,667
短期借入金	3,005	3,246
未払費用	12,119	11,759
未払法人税等	1,535	567
賞与引当金	2,113	1,278
役員賞与引当金	15	14
資産除去債務	8	5
その他	12,658	11,626
流動負債合計	33,737	30,166
固定負債		
長期借入金	5,655	5,254
退職給付引当金	1,614	1,264
資産除去債務	821	825
その他	3,193	3,108
固定負債合計	11,284	10,452
負債合計	45,022	40,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	6,054	6,054
利益剰余金	13,283	12,892
自己株式	△3,493	△3,493
株主資本合計	20,845	20,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	81
為替換算調整勘定	△14	100
その他の包括利益累計額合計	70	181
少数株主持分	5,337	5,744
純資産合計	26,253	26,379
負債純資産合計	71,276	66,998

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	153,561	154,939
売上原価	124,468	125,394
売上総利益	29,093	29,544
販売費及び一般管理費	27,340	27,497
営業利益	1,752	2,046
営業外収益		
受取利息	8	18
持分法による投資利益	42	—
補助金収入	39	31
不動産賃貸料	20	37
その他	81	100
営業外収益合計	192	188
営業外費用		
支払利息	138	124
コミットメントフィー	31	31
持分法による投資損失	—	50
その他	71	72
営業外費用合計	241	277
経常利益	1,703	1,957
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
関係会社株式売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除売却損	41	30
減損損失	—	12
持分変動損失	1	1
その他	—	4
特別損失合計	42	48
税金等調整前四半期純利益	1,664	1,908
法人税、住民税及び事業税	1,116	1,100
法人税等調整額	280	203
法人税等合計	1,396	1,303
少数株主損益調整前四半期純利益	267	604
少数株主利益	561	592
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△294	12

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	267	604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	15
為替換算調整勘定	55	121
その他の包括利益合計	51	136
四半期包括利益	318	741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△240	122
少数株主に係る四半期包括利益	559	618

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社パソナテックシステムズ(旧 株式会社アルゴー)を連結の範囲に含めております。

なお、株式会社アルゴーは平成26年4月1日付けで、株式会社パソナテックシステムズに社名を変更しております。

第2四半期連結会計期間より、新たに株式取得した株式会社サポートを連結の範囲に含めております。

また、株式会社パソナドットタンクは平成25年9月1日付けで、当社の連結子会社である株式会社パソナと合併し、消滅しております。

当第3四半期連結会計期間より、新たに株式取得した株式会社エコLOVE及び新たに設立したBenefit One Asia Pte. Ltd.を連結の範囲に含めるとともに、新たに設立したChunghwa Benefit One Co., Ltd.を持分法の適用の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
減価償却費	1,930	1,782
のれん償却額	499	664

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年7月13日 取締役会	普通株式	374	1,000	平成24年5月31日	平成24年8月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年7月12日 取締役会	普通株式	374	1,000	平成25年5月31日	平成25年8月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第3四半期連結累計期間（自平成24年6月1日至平成25年2月28日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	HRソリューション								
	エキスパートサービス (人材派遣)、イン ソーシング (委託・請負)他 (注) 1	アウトプレ ースメント (再就職支 援)	アウトソー シング						
売上高									
外部顧客への売上高	130,700	8,914	12,538	152,152	1,409	153,561	—	153,561	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	541	1	164	707	1,586	2,293	△2,293	—	
計	131,241	8,915	12,702	152,860	2,995	155,855	△2,293	153,561	
セグメント利益又は 損失 (△)	1,838	1,485	1,766	5,090	△12	5,077	△3,325	1,752	

(注) 1 「エキスパートサービス (人材派遣)、インソーシング (委託・請負) 他」には、エキスパートサービス (人材派遣)、インソーシング (委託・請負)、HRコンサルティング他、ブレース&サーチ (人材紹介)、グローバルソーシング (海外人材サービス) の各事業を含んでおります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアードを含んでおります。

3 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△3,325百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用3,327百万円が含まれております。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

4 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間（自平成25年6月1日至平成26年2月28日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				計	その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	HRソリューション								
	エキスパートサービス (人材派遣)、イン ソーシング (委託・請 負)他 (注) 1	アウトプレ ースメント (再就職支 援)	アウトソー シング						
売上高									
外部顧客への売上高	129,971	8,012	14,549	152,532	2,406	154,939	—	154,939	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	523	1	170	694	1,573	2,267	△2,267	—	
計	130,494	8,013	14,719	153,227	3,979	157,207	△2,267	154,939	
セグメント利益	1,935	834	2,044	4,814	58	4,873	△2,826	2,046	

- (注) 1 「エキスパートサービス（人材派遣）、インソーシング（委託・請負）他」には、エキスパートサービス（人材派遣）、インソーシング（委託・請負）、HRコンサルティング他、ブレース&サーチ（人材紹介）、グローバルソーシング（海外人材サービス）の各事業を含んでおります。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアードを含んでおります。
- 3 セグメント利益の調整額△2,826百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用2,829百万円が含まれております。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
(1) 1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)	△7円86銭	0円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失(△)(百万円)	△294	12
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失(△)(百万円)	△294	12
普通株式の期中平均株式数(株)	37,450,200	37,450,200
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	0円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	—	△0
(うち、連結子会社の潜在株式による調整額)	(—)	(△0)
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

- (注) 1 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
- 2 平成25年12月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

株式取得による会社等の買収

当社は平成26年3月13日の取締役会において、株式会社メディカルアソシア（以下、「メディカルアソシア」）の株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 株式の取得の目的

メディカルアソシアは医療人材業界のパイオニアとして、看護師・医師をはじめ、臨床検査技師・薬剤師・医療事務など、医療に関わるあらゆる人材サービスを行っているほか、医療経営の総合コンサルティングサービスを展開しています。

一方、当社子会社の株式会社パソナでは医師が本来の医療行為に専念できるよう、医師の指示の下で事務的な作業を中心にサポートする医師事務作業補助者「メディカルセクレタリー」の養成・派遣をはじめ、医療事務・受付、製薬・医療機器業界への派遣・委託等、広く医療分野での事業を推進しております。

この度の子会社化により、メディカルアソシアは当社グループの顧客基盤・全国営業網の活用により、競争が激化する医療人材業界での成長スピードを加速させることが可能となり、当社グループにとっても重点領域である医療分野の事業規模拡大につながるものと考えております。またメディカルアソシアは、教育研修事業を手がける株式会社イーディーワンを有しており、当社グループの教育研修事業の強化にもつながるものと考えております。

2. 株式取得の相手先の名称

田中 秀代氏 他株主2名

3. 買収する会社の名称、事業内容、規模

(平成26年1月期)

名称	株式会社メディカルアソシア
事業内容	人材派遣、人材紹介、再就職支援、アウトソーシング他
純資産	609百万円
総資産	2,013百万円
売上高	5,443百万円
営業利益	64百万円
経常利益	56百万円
当期純利益	34百万円

4. 株式取得の時期

平成26年4月14日（予定）

5. 取得する株式の数、取得価額、資金の調達方法および取得後の持分比率

- (1) 取得株式数 74,326株（注）
- (2) 取得価額 1,427百万円（注）
- (3) 資金の調達方法 銀行借入
- (4) 取得後の持分比率 94.1%（注）

(注) 上記株主以外の株主から株式売却の申入れがあった場合、取得株式数、取得価額および取得後の持分比率は変動する可能性があります。

2 【その他】

該当事項はありません。